

守れ権現
(慶應大学山岳部部歌)

作詞 北原白秋
作曲 中山晋平

- 33 -

The musical score consists of two staves of music with lyrics in Japanese. The lyrics are written in both hiragana/katakana and Romanized forms. The Romanized lyrics are as follows:

守れ権現 夜明けよ霧よ
みそぎ
山は命の 禮場所
行けよ荒くれ どんどんと登れ
夏は男の 度胸だめし
馬子は追分 木こりは木遣り
朝は裾野の 放し駒
風よ吹け吹け 笠吹き飛ばせ
笠は紅緒の 荒結び
雨よ触れ触れ
ざんざとかかれ
肩のきこざも 伊達じやない
山は百万石 木がやの波よ
木がや越ゆれば お花畠
雪の御殿に 水の巖窟
滝は千丈の 逆おとし
さあさ火を焚け
ごろりとままで
木の根枕に 嶺の月
夢にや鈴蘭 谷間の小百合
酒の肴にや 山鯨

慶應大学の学生だった大竹莊介が山岳部の会の歌を作った。大竹が小学生の時に通っていた根岸小学校(台東区)で唱歌を教えていた中山晋平(依頼時は作曲家)に頼んで作ってもらった歌である。その際、中山は北原白秋に作詞を依頼し、出来上がったのが「山の唄」の歌詞で、後に題名を作者に無断で「守れ権現」に変えてしまったとされています。

(一) 守れ権現 夜明けよ霧よ
みそぎ
山は命の 禮場所
行けよ荒くれ どんどんと登れ
夏は男の 度胸だめし
馬子は追分 木こりは木遣り
朝は裾野の 放し駒
風よ吹け吹け 笠吹き飛ばせ

(六) 守れ権現 鎮まれ山よ
みそぎ
山は男の 禮場所
雪か空かと 眺めた山も
今じやわしらが 眠り床
どご